

四半期報告書

(第20期第1四半期)

シップヘルスケアホールディングス株式会社

(E03450)

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

シップヘルスケアホールディングス株式会社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	6
1 【株式等の状況】	6
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	18
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	19

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年8月5日

【四半期会計期間】 第20期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 シップヘルスケアホールディングス株式会社

【英訳名】 SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 古川 國久

【本店の所在の場所】 大阪府吹田市春日3丁目20番8号

【電話番号】 06(6369)0130

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画室長 横山 裕司

【最寄りの連絡場所】 大阪府吹田市春日3丁目20番8号

【電話番号】 06(6369)0130

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画室長 横山 裕司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第19期 第1四半期 連結累計期間	第20期 第1四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	35,824,360	41,565,429	162,432,870
経常利益 (千円)	1,655,022	2,643,800	8,850,412
四半期(当期)純利益 (千円)	1,009,243	1,640,251	5,931,197
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	770,000	1,202,986	6,435,005
純資産額 (千円)	24,402,594	30,038,694	30,035,378
総資産額 (千円)	105,613,365	109,976,591	116,822,417
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	2,446.25	39.76	143.76
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	22.8	26.9	25.4

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第19期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載していません。

5 当社は、平成22年10月1日付で1株を100株に株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の推移を参考までに掲げると以下のとおりとなります。

回次	第19期 第1四半期 連結累計期間
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	24.46
潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益金額 (円)	—

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績の分析は、以下のとおりであります。なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災により甚大な被害を受け、生産活動の停滞や、原発事故による電力供給懸念も広がるなど、被災地のみならず日本全体に深刻な影響を及ぼす結果となりました。

当社グループの属する医療業界におきましては、最悪の事態に備えた地域医療、病院インフラの在り方や医療制度そのものに至るまで、多方面での課題が浮き彫りになりました。

当社グループにおきましては、大型プロジェクト案件の売上計上に加え、病院の設備投資意欲が引き続き高いことを受けて、自社製品を中心にこれまで以上に売上利益を伸ばすことができました。また、介護付有料老人ホームが期初より高い稼働率で推移するとともに、調剤薬局においても順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は41,565,429千円（前年同四半期連結累計期間比16.0%増）、営業利益は2,348,872千円（前年同四半期連結累計期間比79.5%増）、経常利益は2,643,800千円（前年同四半期連結累計期間比59.7%増）、四半期純利益は1,640,251千円（前年同四半期連結累計期間比62.5%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、大型プロジェクト案件の売上計上に加え、特殊浴槽等の自社製品が好調な受注に支えられ販売を伸ばし、業績が拡大いたしました。

この結果、売上高は14,635,583千円（前年同四半期連結累計期間比23.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,431,550千円（前年同四半期連結累計期間比119.4%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、販売数量増加と効率化を推し進めるとともに、昨年10月より連結した株式会社札幌メディカルコーポレーションの業績が寄与いたしました。

この結果、売上高は20,971,622千円（前年同四半期連結累計期間比12.3%増）、セグメント利益（営業利益）は368,315千円（前年同四半期連結累計期間比13.2%増）となりました。

③ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム運営事業における入居者が1,200名前後で安定的に推移するとともに、食事提供サービス事業におきましても順調に販売エリアを拡大いたしました。

この結果、売上高は1,961,259千円（前年同四半期連結累計期間比3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は280,113千円（前年同四半期連結累計期間比1.7%減）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、ジェネリック医薬品や調剤技術料の加算獲得に注力いたしました。なお、株式会社仙台調剤において震災の影響により前期算入されなかった3月分の業績を加味しております。

この結果、売上高は3,767,906千円（前年同四半期連結累計期間比18.9%増）、セグメント利益（営業利益）は374,048千円（前年同四半期連結累計期間比49.6%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業において他の動物病院からの診察紹介が増加し、高度画像診断、手術件数が順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり進捗いたしました。

この結果、売上高は229,057千円（前年同四半期連結累計期間比5.5%増）、セグメント利益（営業利益）は35,837千円（前年同四半期連結累計期間比3.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は109,976,591千円となり、前連結会計年度末と比べて6,845,826千円減少いたしました。その主な要因は、土地が1,789,000千円増加した一方、受取手形及び売掛金が4,779,432千円、現金及び預金が3,208,461千円減少したこと等によるものであります。

負債は79,937,897千円となり、前連結会計年度末と比べて6,849,141千円減少いたしました。その主な要因は、賞与引当金が303,283千円増加した一方、支払手形及び買掛金が4,063,317千円、長期借入金金が2,129,983千円減少したこと等によるものであります。

純資産は30,038,694千円となり、前連結会計年度末と比べて3,315千円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が1,196,444千円、その他有価証券評価差額金が475,304千円減少した一方、四半期純利益により利益剰余金が1,640,251千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は26.9%（前連結会計年度末比1.5ポイント増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は112,469千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	64,000,000
計	64,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	41,259,500	41,259,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 100株であります。
計	41,259,500	41,259,500	—	—

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら制限のない当社における標準となる株式であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	—	41,259,500	—	5,667,081	—	6,593,306

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年3月31日の株主名簿により記載しております。

① 【発行済株式】

平成23年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,800	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 41,254,900	412,549	—
単元未満株式	普通株式 1,800	—	—
発行済株式総数	41,259,500	—	—
総株主の議決権	—	412,549	—

② 【自己株式等】

平成23年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) シップヘルスケア ホールディングス株式会社	大阪府吹田市春日 3-20-8	2,800	—	2,800	0.01
計	—	2,800	—	2,800	0.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,767,751	19,559,290
受取手形及び売掛金	41,688,719	36,909,286
有価証券	25,193	44,936
商品及び製品	5,858,595	5,799,617
仕掛品	1,284,766	1,311,773
原材料及び貯蔵品	901,985	969,664
その他	6,905,871	7,355,588
貸倒引当金	△138,141	△157,442
流動資産合計	79,294,740	71,792,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,818,860	6,721,450
土地	5,892,398	7,681,398
貸与資産（純額）	57,411	62,986
賃貸不動産（純額）	9,066,740	9,102,857
その他（純額）	1,261,925	1,102,649
有形固定資産合計	23,097,336	24,671,342
無形固定資産		
のれん	※2 1,087,177	※2 1,068,773
その他	470,935	445,411
無形固定資産合計	1,558,113	1,514,185
投資その他の資産		
長期貸付金	7,142,735	6,958,942
その他	7,766,802	7,063,537
貸倒引当金	△2,037,311	△2,024,130
投資その他の資産合計	12,872,226	11,998,349
固定資産合計	37,527,677	38,183,877
資産合計	116,822,417	109,976,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,604,402	38,541,085
短期借入金	2,600,000	2,530,000
未払法人税等	1,585,156	695,539
賞与引当金	1,012,584	1,315,868
その他	12,919,750	13,400,386
流動負債合計	60,721,894	56,482,881
固定負債		
社債	3,942,000	3,862,000
長期借入金	18,461,875	16,331,891
退職給付引当金	1,703,372	1,717,347
資産除去債務	65,224	67,015
その他	1,892,671	1,476,761
固定負債合計	26,065,145	23,455,016
負債合計	86,787,039	79,937,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,667,081	5,667,081
資本剰余金	10,036,491	10,036,491
利益剰余金	12,819,619	13,263,426
自己株式	△1,059	△1,059
株主資本合計	28,522,132	28,965,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,160,064	684,760
為替換算調整勘定	△12,649	△12,649
その他の包括利益累計額合計	1,147,415	672,110
少数株主持分	365,829	400,642
純資産合計	30,035,378	30,038,694
負債純資産合計	116,822,417	109,976,591

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	35,824,360	41,565,429
売上原価	30,996,836	35,406,604
売上総利益	4,827,523	6,158,824
販売費及び一般管理費	3,519,037	3,809,952
営業利益	1,308,486	2,348,872
営業外収益		
受取利息	135,525	89,365
受取配当金	29,273	29,601
負ののれん償却額	164,779	164,779
持分法による投資利益	20,376	16,908
その他	174,715	115,569
営業外収益合計	524,669	416,226
営業外費用		
支払利息	117,431	100,522
その他	60,702	20,774
営業外費用合計	178,133	121,297
経常利益	1,655,022	2,643,800
特別利益		
固定資産売却益	5,417	28
退職給付制度改定益	50,981	—
負ののれん発生益	569	—
特別利益合計	56,968	28
特別損失		
投資有価証券評価損	54,341	2,509
固定資産売却損	12,298	209
固定資産除却損	143	37,765
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,383	—
事業構造改善費用	—	16,288
特別損失合計	88,167	56,771
税金等調整前四半期純利益	1,623,823	2,587,057
法人税、住民税及び事業税	786,957	736,630
法人税等調整額	△199,696	172,135
法人税等合計	587,261	908,766
少数株主損益調整前四半期純利益	1,036,561	1,678,291
少数株主利益	27,317	38,039
四半期純利益	1,009,243	1,640,251

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,036,561	1,678,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△248,763	△475,304
為替換算調整勘定	△17,797	—
その他の包括利益合計	△266,561	△475,304
四半期包括利益	770,000	1,202,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753,358	1,164,946
少数株主に係る四半期包括利益	16,641	38,039

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期連結会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であります酒井医療(株)は、同じく連結子会社であるグループエンジニアリング(株)を吸収合併しております。 また、同じく連結子会社であります(株)札幌メディカルコーポレーションは、同じく連結子会社である(株)エムシー、(株)メディカルトラストを吸収合併しております。 変更後の連結子会社数……35社
(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更	連結子会社である(株)仙台調剤は、東日本大震災により、平成23年2月末日で実施した仮決算以降の4ヶ月決算数値を連結しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
受取手形割引高	54,600千円	－千円
受取手形裏書譲渡高	191,256千円	304,865千円

※2 のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
のれん	4,609,313千円	4,426,129千円
負ののれん	3,522,135千円	3,357,356千円
差引額	1,087,177千円	1,068,773千円

3 当座貸越契約について

連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。当座貸越契約に係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
当座貸越極度額の総額	13,040,000千円	13,530,000千円
借入実行残高	2,410,000千円	2,340,000千円
差引額	10,630,000千円	11,190,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	365,395千円	364,850千円
のれんの償却額	182,843千円	185,183千円
負ののれんの償却額	△164,779千円	△164,779千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	887,019	2,150	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,196,444	29	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル パック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,874,848	18,667,477	1,895,692	3,169,232	35,607,250	217,109	35,824,360	—	35,824,360
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	174,066	9,288	4,227	118	187,700	2,555	190,255	△190,255	—
計	12,048,915	18,676,765	1,899,919	3,169,351	35,794,951	219,665	36,014,616	△190,255	35,824,360
セグメント利益	652,375	325,373	284,829	250,088	1,512,666	37,253	1,549,920	△241,433	1,308,486

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△241,433千円には、セグメント間取引消去25,477千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△266,915千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	14,635,583	20,971,622	1,961,259	3,767,906	41,336,371	229,057	41,565,429	—	41,565,429
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	205,128	22,875	1,071	183	229,258	2,688	231,946	△231,946	—
計	14,840,712	20,994,497	1,962,331	3,768,089	41,565,630	231,746	41,797,376	△231,946	41,565,429
セグメント利益	1,431,550	368,315	280,113	374,048	2,454,027	35,837	2,489,864	△140,992	2,348,872

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△140,992千円には、セグメント間取引消去16,737千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,505千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2,446円25銭	39円76銭
(算定上の基礎)		
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	1,009,243	1,640,251
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,009,243	1,640,251
普通株式の期中平均株式数(株)	412,567	41,256,700

(注) 1 潜在株式調整後の1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 当社は、平成22年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における前第1四半期連結累計期間に係る1株当たり四半期純利益金額は、24円46銭であります。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 5日

シップヘルスケアホールディングス株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐 伯 剛 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽 津 隆 弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシップヘルスケアホールディングス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シップヘルスケアホールディングス株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月5日
【会社名】	シップヘルスケアホールディングス株式会社
【英訳名】	SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 國久
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	大阪府吹田市春日3丁目20番8号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 古川國久は、当社の第20期第1四半期(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。